



千葉 康由
写真展「風の谷の子どもたち」
2006年11月～2007年2月
全国5カ所(東京・仙台・名古屋・大阪・札幌)の
キャンピングカーラリーで開催。



ちば やすよし

1971年生まれ。武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。朝日新聞社写真部に入社し、東京本社編集局写真センターなどで新聞や雑誌の写真を担当。一方、個展の開催なども意欲的に展開。本年より、フリーの写真家としてケニアでの生活を始める。

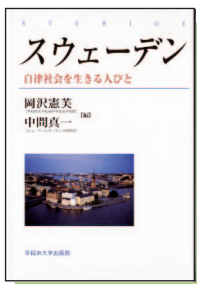
「風の谷の子どもたち」の4日間
風の谷幼稚園(川崎市)の年長組が、親元から離れた長野・菅平高原に3泊4日の合宿へ行く。そこでは、7キロの山道を歩いておにぎりをほおばったり、草すべりをして昼寝をしたりと、自然を満喫するイベントが目白押しだ。こんな無尽蔵のパワーが子どもたちにあるのかと感心した。そして心ひかれる瞬間が静かな光景の中にあつた。脱いだ洋服を丁寧にたたむ。箸を正しく持つて納豆をかきまぜて食べる。川遊びで転びそうな子に手を差し出し、風呂上がりの髪をとかしあう。自分でやりとげようとすする集中力と、仲間と交わす優しさが、時折キラキラと輝いて見えた。

合宿を終え、両親との再会を眺めていたとき、子どもたちが思ったよりずいぶん小さな体をしている錯覚を覚えた。夢中になって写した4日間。フリンターを通して見ていた彼らの存在感は、とても大きなものになってしまった。

●学校法人一廣学園「風の谷幼稚園」園長:天野優子、園児数:約160名

1998年神奈川県川崎市麻生区に開園。幼児期の子どもたちが本来持っている「育つ力」を信じ、その力を思い切り身体を使って遊ぶ中から発揮し、バランスの取れた心身の発達を目指して幼児教育に取り組んでいる幼稚園。HRIでは、自律社会を担う次世代を育くむ先端フィールドと位置づけ、開園準備から現在に至るまで、この幼稚園との相互協力関係をもって研究活動を進めている。

早稲田大学出版部 定価2800円(税別)



幸いです。ぜひご一読いただければ幸いです。

その中で、スウェーデンなど北欧社会研究の第一人者である岡沢憲美先生のご協力を得て、自律社会としてみるスウェーデンと、人々の生き方について入念な情報収集と現地取材による検証や議論を重ねた結果を本書にまとめました。出産・育児、生涯学習、ワーク・ライフ・バランス、高齢者や障害者福祉など、暮らしに密着したテーマごとに、人々の生き方と社会システムを紹介しています。ぜひご一読いただければ幸いです。

スウェーデンの人びとは、どんな生活をおくっているのか

書籍紹介
スウェーデン 自律社会を生きる人びと
編者
岡沢 憲美
早稲田大学社会科学総合大学院教授
中間 真一
ヒトマンルネットワーク研究所主任研究員